



ニュースレター

発行日 2008. 2. 22.

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

Vol. 53

2月も半ばになり、そろそろ今年度の事業を振り返り、次年度の計画を固める時期になりました。遊学舎の管理運営をしながら地域活動の支援をするという、切っても切り離せない日常の業務の中で、少しでも利用者が気持ちよく利用し、また、地域が元気になるようにと職員一同意義を感じながら頑張っています。どうぞお時間ができた折にはお立ち寄りください。

第5回患者塾 ～うつの人を抱えた家族のために～

2月3日（日） 参加者 28名

今回の話題提供者・アドバイザーは、笠松病院院長の稲村茂先生でした。先生の物腰の柔らかい話し方で「うつ」という病気の説明をしていただき、質問にも応じていただきました。同じ悩みを抱えた方と交流をし、心を開ける場となりました。こういう場がもっとあれば、救われる家族が多いのでは・・・という意見がありました。

（事業推進課 千田）



ボランティアさんによるもちつき大会

2月17日（日） 参加者 24名

遊学舎ボランティア会の皆さんが「もちつき大会」を行いました。その一週間前にはふれあい広場に「かまくら」を作り、その完成のお祝いと会員の親睦を深めようと企画されたものです。つきあがったもちは早速、きな粉とアンコでいただきました。しかも豚汁までついて・・・、おいしかった！！ 館内の受験勉強に来ていた学生にも「力もち」のおすそ分け。来年から、ボランティア会の恒例行事にしようという声も上がって、お腹も心も幸せいっぱいの日でした。

（事業推進課 畠山）



ほんねが言える会のすすめ方



2月9日（土）参加者55名効果的な会議を進めるためのファシリテーター実践として「ほんねが言える会のすすめかた」講座が開かれました。講師はNPO法人あきたNPO コアセンターの小西知子さん。最初は慣れずに固かった雰囲気も、実際のワークショップでは皆さんが活発に意見を出し合い、立派なまとめができていました。20年度もパートⅡを企画しています。会員の皆様もぜひ、ご参加ください。

（事業推進課 畠山）

車座会議

昨年7月から12月にかけて、県地域活動支援室の主催で、地域づくり団体の情報交換と市町村担当職員との連携を目的とした「車座会議」が県内5か所で開かれました。あきたパートナーシップはそのファシリテーター（会議の推進役）を依頼され、男鹿南秋地区で5回の集まりを行いました。日ごろ様々な活動をしている団体が一堂に会し、情報交換と交流をしました。お互いの顔を見ながらの情報交換は、今後の活動にも生かされ、それぞれの団体のパワーアップにつながります。

（NPO 活動支援室 高杉）



テーマ「都会の小学校がこの地域に宿泊体験に来たら、どんなメニューが用意できますか？」